



特浴用風呂に米のとぎ汁発酵液使用で大きな成果 愛媛県八幡浜市 介護老人保健施設「西安」

八幡浜市にある介護老人保健施設西安(薦田勝彦施設長)は、定員100名で111名の職員で運営している。愛媛県の旧国名は「伊予」で西部地域・八幡浜は西予と呼ばれ、西予の安寧の場所として「西安」と名付けられたそうだ。この施設を運営するのはアトムグループの社会福祉法人白寿会で、常勤の医師が勤務している。医学的管理ができる上、この西安のリハビリは高い医療技術と従事する職員が熱心で優しいので、地域のお年寄りに大変評判が良い。リハビリは午前と午後、共に実施している。通所リハビリの場所は5階にあり、明るく眺めがよく、若い指導員が優しく手際よいのも人気の秘訣かもしれない。

この施設でEMがどのように使われているかを聞いたところ、活性液は床・トイレなどの清掃や施設内の花と花壇への水やりにも使用、廃油プリン石鹼で流しを掃除すると簡単に水のキレが良くなり、汚れが付きづらくなるそうだ。また、EM プリン石鹼で利用者のエプロンを毎食後に洗うのだが、臭いが全く消えるとのこと。

極め付きは利用者が特浴と呼ばれる機械式のお風呂(写真参照)に入る際に、米のとぎ汁発酵液を150ccほど入浴剤代わりに入れるのだが、肌がしっとりして若い人の肌のように水分をはじきスベスベになると言う。しかも、湯冷めがしないし、加齢臭も無くなるということで、このお風呂は大好評だそうだ。施設管理上も風呂の壁にカビが発生しないので助かっているとのこと。

こうした施設のゴミ置き場は大きいので、管理が悪いとカラス、のら猫、ネズミなど害獣に荒らされて不潔になりがちだ。しかし、ここではEM整流のペットボトルを2m間隔につけられているので、荒されずに清潔が保たれている。このペットボトルの作り方は、500ccのペットボトルに八幡浜市障がい者施設「いきいきプチファーム」が作る良質活性液を入れ、アムロン製のAパウダーと呼ばれるセラミックパウダーを15CC入れてある。また、ネズミは換気扇の隙間から入ることが多いので、換気口にこのペットボトルを付けると、更に被害が無くなるそうだ。(取材:理事 広報担当 大山正治)



米のとぎ汁発酵液使用で成果を上げる特浴用風呂

information

【イベント】EMで発酵BIG BANG in 刈谷

みんなで「発酵」し合える楽しい交流イベント「EMで発酵ビッグバン」が今年も6月に愛知県刈谷市で開催されます。

日程:2017年6月17日(土)

会場:刈谷市総合文化センター 愛知県刈谷市若松町2-104

* 詳細時間・内容は、改めてお知らせします。